

DUNGEONS & DAIMEIWAKU

¥ 0

天井石 天井石

～GREAT EDGES IN THE ABYSS～

迷宮探索マニュアル



Liar-soft

——そこは、ある——

——危険と、謎と、黄金の、その先に待ち受けるものは——

「……もういいだろ。もう還ろうよ、地上へ、さ。これ以上はお前さんのお話じゃない。あたしのでも、こいつの話でもない。だから、もう十分じゃありませんか、旦那ア……」

——数多の山河を越えて。迷いの森を分け幻影の砂丘を踏み跨いだその先に、そこはある。そこは——

ダンジョン

地下迷宮！

——暗がりに潜み、魔獣怪物悪党どもの瞳が底光りする、爪が牙が、刃が、恐ろしくも待ち受ける——

ダンジョン

地下迷宮！

——超絶の剣技が振るわれ、偉大なる魔術が行使され、鋼が、爆炎が迷宮の闇を裂く——

ダンジョン

地下迷宮！

——冒険者達は求める。富を、力を、そして新たな冒險を。迷宮の深淵に待ち受けるのは、大いなる

秘宝か惨めな末路か——

ダンジョン

地下迷宮！

「けれど、けれどであります、これを、これを放置しておいたなら、既知文明世界が巨大な厄に襲われるやも知れんです……あるいは御前のお国までも——」

「はっはっは。よきに計らえ……とは言うものの、僕は難しいことがわからないのは君らも知ってるだろ。そもそも撤退しようが突撃しようが、鉄火場に飛び込んじまうのが僕の芸風じゃないか」

「ああ、そうでしたっけね……」

「自分たちもそれは、さんざんぱら巻き込まれしたっけね」

「ま、今回もよろしく頼むよ、僕の、頼もしい君たち——」

ジ・アビス

これは、大いなる深淵の迷宮と、挑みし者達の、物語。

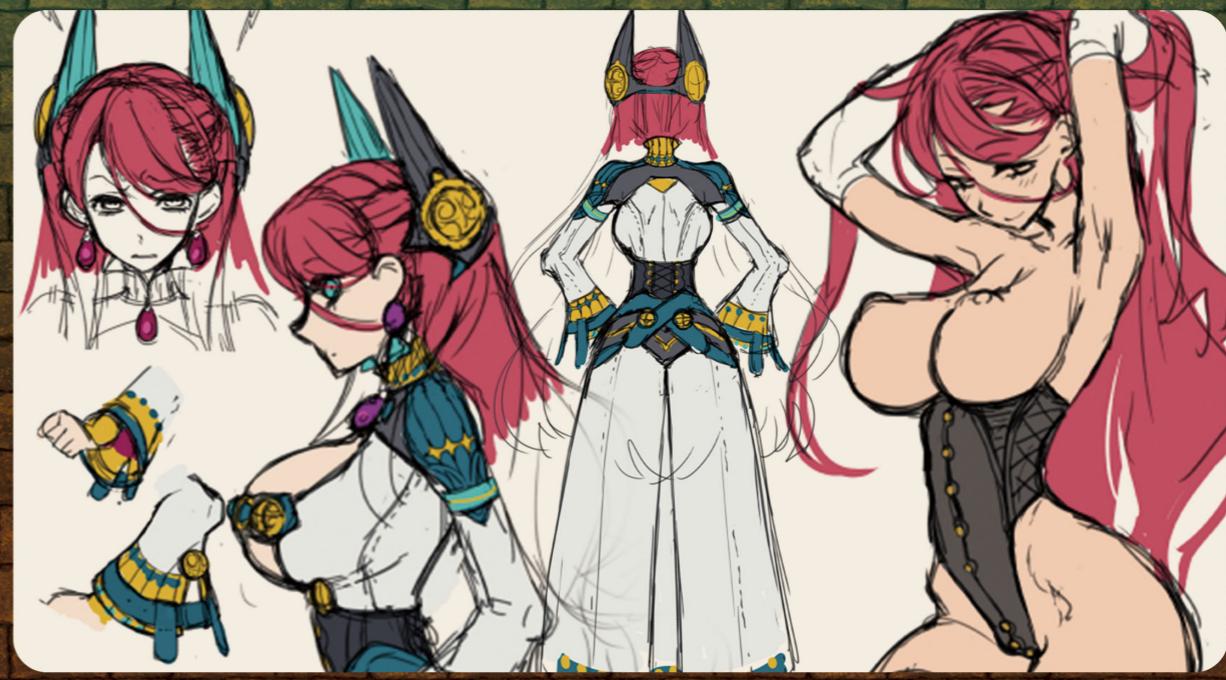
「待つて旦那止まつて
旦那行かほひてえええつ！」



comment

キレイなお姉さんキャラなので下品にならないように精一杯頑張っています。
(こめ)

パーティの中の魔法・回復薬担当。「魔法使い」ではなく、ちょっとクセのある鍊金術師であるのには理由があります。衣装はボンデージ風、ボディラインをタイトにきれいに出しつつ、肩や首筋などの露出も多めという仕様……から出発して現在の形に落ち着きました。おっぱいがほばまるだしなのにも理由があります。
(希)



■ 所有エフェクト

その1 「実は持っていた」

このエフェクトにより、彼女は衣装の袖口や乳房の谷間に無数の品物を隠すことができる。

各種薬剤は言わずもがな、衣装、飛び道具、酒瓶2ダース、双眼鏡、各種鍵類を衣装の内側に気付かれずに隠し持つことが可能である。

ただし同時に、しばしば衣装の中に隠した品物が行方不明になる。またさっと品物を取り出したはいいが、隠した覚えのないもの、例えば導火線に火がついているダイナミトとかそういうものを間違って取り出してしまふことも起りうる。

その2 「不明」

とにかくひどい事になる。

**ALCHEMIST
ニコライト・ペルシャイド**

波打ち豊かな髪の、世慣れていて、艶めかしい美女。物言いは、乱暴のような、それでいて柔らかな、物がわかった姉さん風。性格は達観と強欲を同居させた、熟練の冒險者。がめつい火事場泥棒……とも言えなくもない。パーティの世話役＆ご意見番。立ち位置的に突っ込みをすることも多い（彼女自身も問題行動を多々起こすのだが）。

職業としては魔法職に位置するのだが、呪文は使わず鍊金術の秘薬でもって魔法効果を発動させる。攻撃も補助も回復もこなすオールラウンダーだが、物理攻撃力的にはまあそれなりというところ。ただし攻撃魔法に関しては、単体攻撃魔法は使用できず、ほぼ全てが範囲攻撃となる上に威力の手加減もできない。

「自分は、も、もう耐えられないと
ありますうつひやあああーっ！」

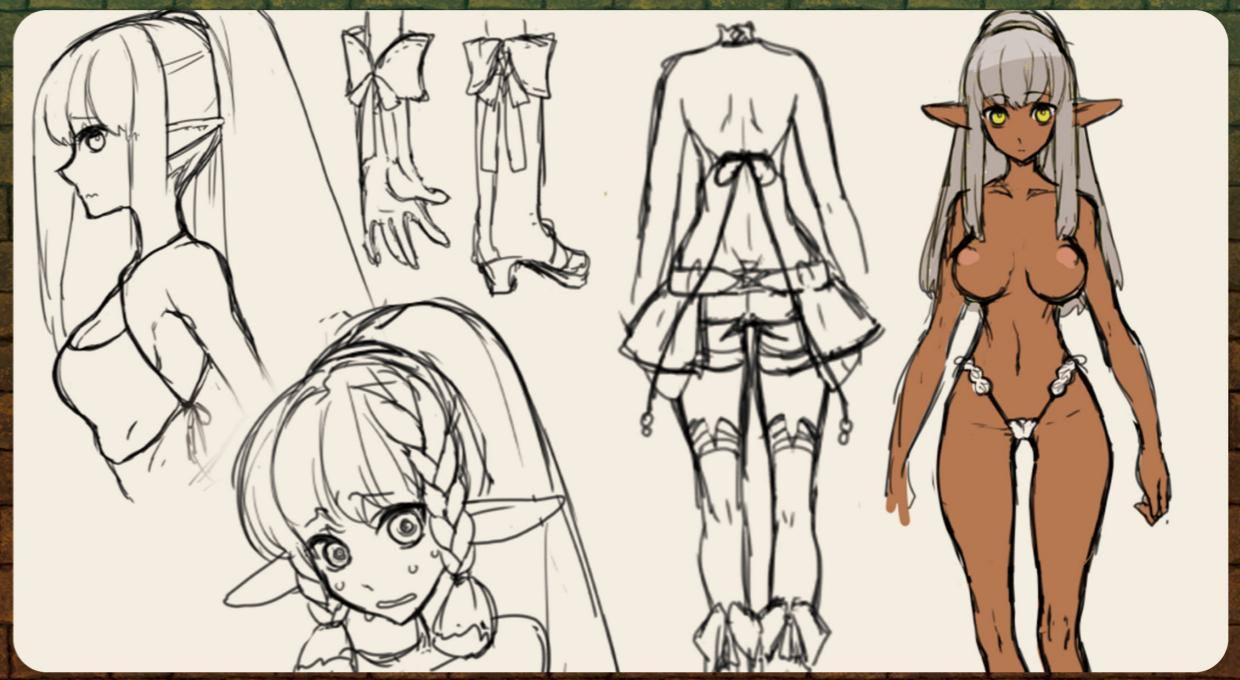
comment

レベルが上がるとアーマークラスが下がっていくので軽装備なイメージです。

(こめ)

パーティの斥候兼罠解除役であり、かつ将観と共にパーティの前衛を務めます。装備については、とにかく機動性重視であり防御力に関してはほぼ無視されています。ニンジャなので裸に近ければ近いほどいいという事で、なお名前中のハクメイを漢字表記にすると「薄命」だったりします。

(希)



■所有エフェクト

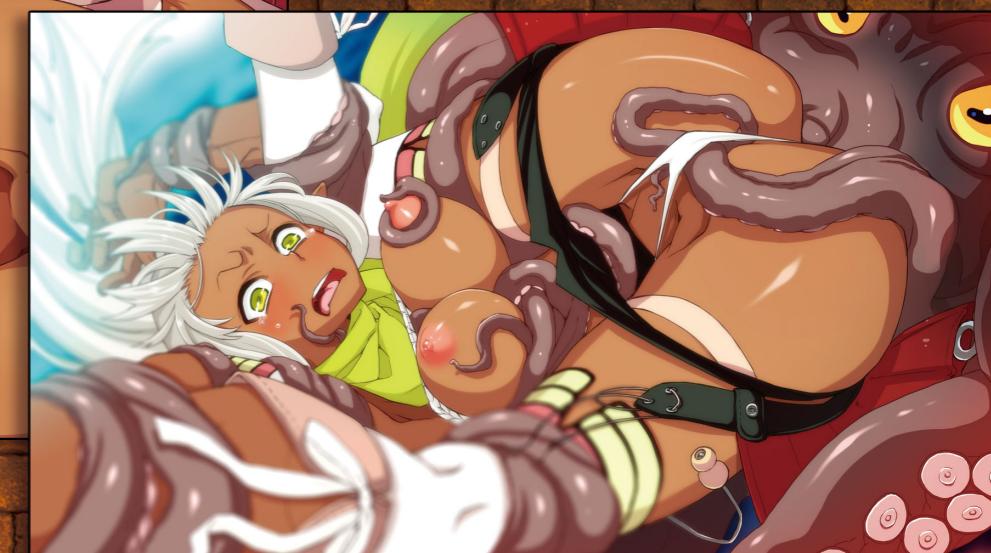
その1 「怖い考えになってしまう」

窮地に陥ったときに全然関係ない、おっかないことをつい考えてしまう癖を持っている。例えば、暴漢に剣を向けられたときに「蛍光緑のちゃんの大群が、そこの戸棚の蓋を開けてぞろぞろ這い出してきたらコワイなあ」とかそういうことを考えてしまい、しかもそれが実現してしまう。

その2 「派手な活劇」

絶体絶命の窮地に陥った時など、たまたま近くにぶら下がっていたロープ、カーテン、蔓につかまって、敵の頭上をひらりと飛び越えて脱出することが出来る。

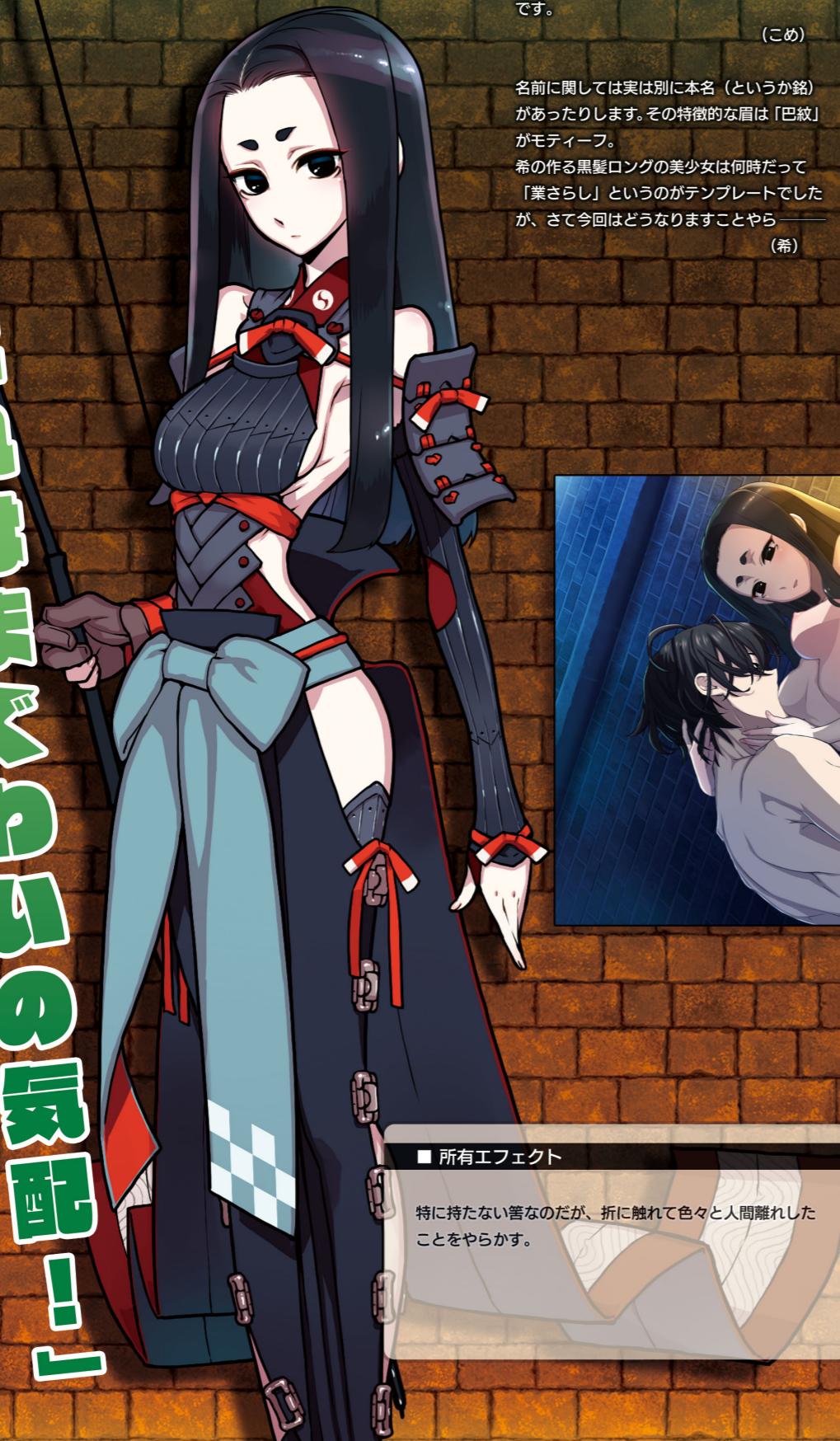
この特殊能力は、どこでも発動させることができると同時に、困難かつ派手な登場を強制する。



NINJA ハクメイ丸

褐色肌のエルフ。ダークエルフではないのでそう言われると死んだ目になってじめじめと落ち込む。髪型はボニーーテール、猫のような眼で、体が非常に柔軟であり、これも猫のよう。黙っていれば可憐な美少女なのだが、表情がころころ変わり、崩れ顔、変顔を見せることが多い残念美人。性格は一見生真面目、付き合ってみると怖がりでいささか常識を欠いていて、アグレッシブなマゾ気質であることが判明する。職業は ninjya。戦闘術、体術に長けて攻撃力も回避力も高い。鍵や罠の解除、索敵などもこなす、戦士と盗賊を合わせてもっと強くしたような上級職。ただし魔法に対する素養はない。忍術に関してはマスタークラスなのだが、彼女は「とかく怖い考えにとらわれがち」であるため、忍んでいられない。

「お・
こ・
れ・
は・
ま・
ぐ・
わ・
い・
の・
気・
配・
!」



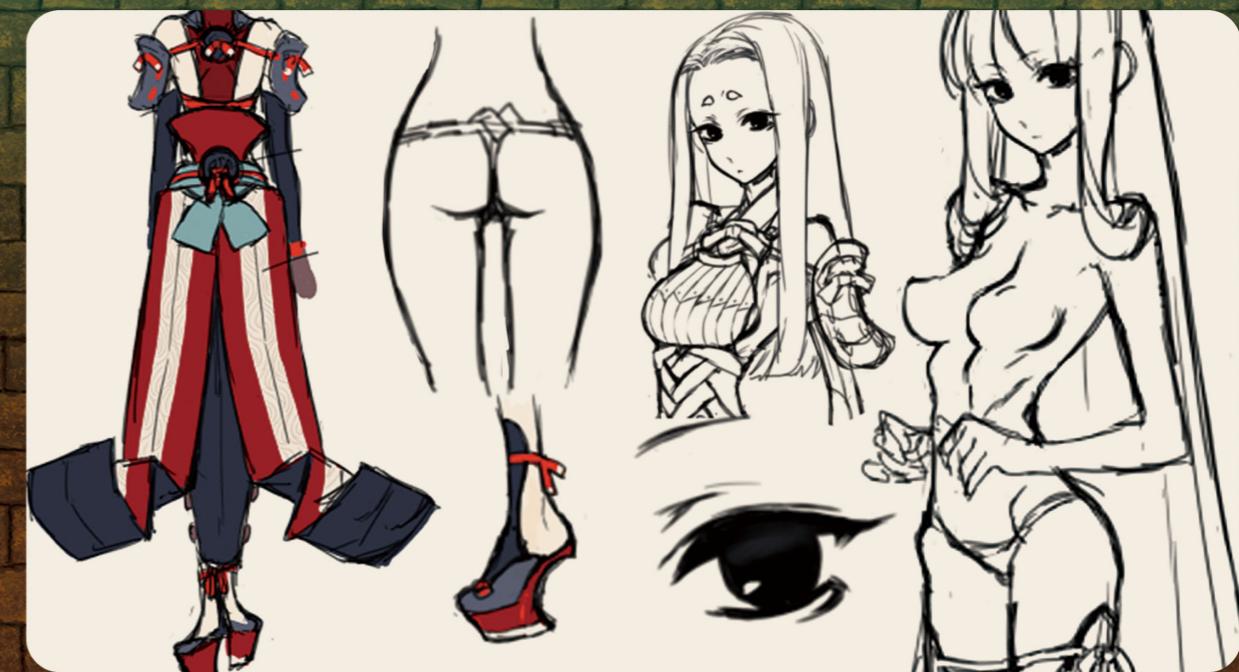
comment

眉が特徴的で表情がつけづらく、かつ絶世の美少女という描き甲斐のあるキャラクターです。

(こめ)

名前に関しては実は別に本名（というか銘）がありました。その特徴的な眉は「巴紋」がモチーフ。
希の作る黒髪ロングの美少女は何時だって「業さらし」というのがテンプレートでしたが、さて今回はどうなりますことやら――

(希)



ARCHER
黒 城
(くろづか)

■ 所有エフェクト

特に持たない筈なのだが、折に触れて色々と人間離れしたことをやらかす。

途中からパーティに加入する、絶世の美少女。将覧と似通った意匠の装具を身に着けており、どこやら彼の事をずっと以前から見知っていたような口をきく。将覧の方もこの少女に対して何やら既知感を抱く。性格は良くも悪くも浮世離れ、人間離れしており、人を辟易とさせることもしばしば。

パーティ内のクラスとしては弓手。ずば抜けた、神がかった技量を示す。

SAMURAI 斯波将覽 (しば・しょうらん)

comment

どんな状況でも育ちの良さが残るような、悪い顔にならないように意識しています。

(こめ)

放浪の若き侍にしてパーティの中心。

全身を覆うこの装甲の材質は、薄いが耐久度は高くかつ韌性も有るという「謎金属」です。「侍」ではあるのだけれど、いかにしてその装甲をいわゆる「鎧兜」から異なるラインにするかに腐心しました。結果、部分部分の和風の衣装と、SFチックなボディースーツの融合という雰囲気に。

(希)



■所有エフェクト

その1 「見知った誰か」

このエフェクトにより、よく他人と間違われる。初めて出会った他人から「やあ、おひさしぶり」とか「また会いましたね」とか挨拶される。初対面の異性からいきなり平手うちを食らうこともあり、初めての人から旧友よばわりされることもある。

その2 「エッシャー効果」

彼はまるで学問というモノが理解できなかった為、物理法則についても疎い。そのため、「右足が沈む前に左足を踏み出し左足が沈む前に右足を」方式で水面を走ってしまった、そういう間違いを現実にやらかす。もちろん大抵の場合、もうチョットというところでこの効果は切れて、正常な物理法則がははを効かせる事になる。

パーティのお殿さま。育ちの良さを感じさせる、鷹揚で穏やかな口調で物を言う。武士道を奉じ、弱きを助け強きをくじく正義漢……ではあるのだが、とにかくおつむが頓珍漢でお馬鹿すぎる困った子。職業は侍。ただしこの大際に存在している魔法剣士職「サムライ」とは似て非なるもの。剣技は超一流なのだが、「侍は弱きを守り、斬らぬもの」という建前を馬鹿正直に信じており、そうした相手には峰打ちしか放てない。



comment

濃くていかつい戦闘狂と女性美が同時に成立するラインを追求してみました。

(こめ)

高身長筋肉質女がツインテールだっていいじゃない!「ジ・アビス」のボス……のはずなのですが、戦闘狂であるため、強者を待ちきれずにふらふらと他階層まで出向く事があるという、はた迷惑な人物です。ちなみに装甲のモチーフは鬼面。隠されたギミックがあります。

(希)

DUNGEON BOSS ドゥルガーギット

WARLOCK
アーテ・クロイリナッハ



comment

眼球を動かさずにものを見る表情付けで人形的な不気味さを表現してみました。

(こめ)

ドゥルガーギットの参謀格であり、若くして秘儀の数々に通じた魔道賢者。居城を不在にしがちなボスの下で苦労してそうですが、特に問題もなくやっていっている様子です。とはいってアーテはアーテで何を考えているのか今一つ不明な人物のですが。そしてこの子は、「上も下も着けてないし履いていません」。

(希)



ドゥルガーギットとアーテは最深層第10層の地下宮殿に座す、このダンジョンのボスとその参謀。傲慢で凶暴でエゴイストで、冒険者達を苦しめる事、苦難を乗り越え自分の許まで辿り着いた者たちを虐殺することを待ち望み、至上の喜びとしているDSファンタジスタ。故に、冒険者一行との戦いを邪魔するものは絶対に許さない。それが例え、カミサマであろうとも。

エイゲンは外道に落ちた魔剣士。かつては「侍」であったらしいのだが、現在は「サムライ」にとクラスチェンジ。もともと好んで人を斬る性向にあったのだが、魔法も使える剣士となってからというもの、剣技と魔法を好き放題に振るっては、不運な冒険者を翻弄殺しをしている。将覽に凶悪な殺意を示し、隙あらば念入りに斬り殺してやろうとしている。

3人ともそれぞれ強力なエフェクトを所持し、主人公達冒険者一行の前に敵として立ちふさがる。

comment

ビスマス鉱のような表面光沢がチャームポイントです。

(こめ)

その特徴的な肉体は、生体金属（ライブメタル）ともいべき物質で構成されており、物理・魔法共に強大な耐久性を誇ります。もともとこういう生物なのか、それとも何らかの経緯によりこの肉体を手に入れたのか。何やら将覽とも因縁浅からぬ様子であり……。

(希)

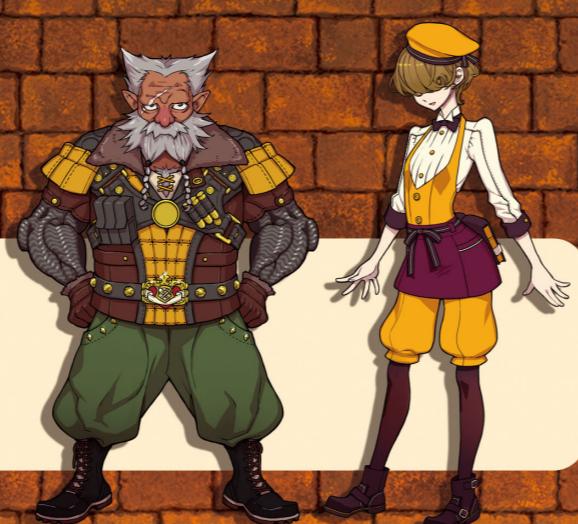
in 酒場

エンシーのバレンド(左)

ダンジョン内に設けられた酒場の主人。名前の「エンシー」は、スコップを指す日本語の「円匙（えんし）」から。

給仕さん(右)

酒場の給仕たち。全員同じ顔で、いつの間にか増えたり減ったりしている。





Liar-soft

NOT FOR SALE

<https://www.liar.co.jp/>